

Ki'Leaft®

Ki'Leaft®は、BERKEM 社の Active Liquids 製品。冬に落葉する有機栽培 キウイの葉を有効活用 (Upcycling 原料) し植物由来グリセリンと水で抽出した機能性植物成分。即時的なタイトニング効果 (肌を引き締めハリを与える)、肌リニューアル効果、肌バリア機能と構造強化を ex vivo, in vivo 評価において確認しています。肌を引き締めてハリを与える、肌再生、敏感肌向け処方に役立つ原料。キーワード (Immediate tightening, Regenerative, Barrier function improvement, Antioxidant)



【成分】

表示名称 : キウイ葉エキス (5%※表示名称申請中)、グリセリン (57%)、水 (38%)
 COSMOS オーガニック対応、Upcycling 原料、Vegan 適合
 NMPA 登録コードあり、CAS 番号 92456-63-8
<https://www.berkem.com/en/cosmetic/products/actives/ki-leaft/ki-leaft>



【特長】

Upcycling 原料。即時的な肌タイトニング効果 (ハリを与える)、肌リニューアル
 肌バリア機能と構造強化、抗酸化効果 (DDPH 法,たるみ・エイジングケア)、防腐剤 Free。
 推奨添加量 : 1-3%、Sugar: ≥20%、Total polyphenols (Folin) in eq. gallic acid: ≥5%
 外観 : Brown Liquid、pH : 4.0-5.5、shelf life : 3 年 (光,熱,湿気を避け室温保管)
 評価:Ocular irritation(In vitro),Skin irritation(In vitro,In vivo),Cosmetics allergens

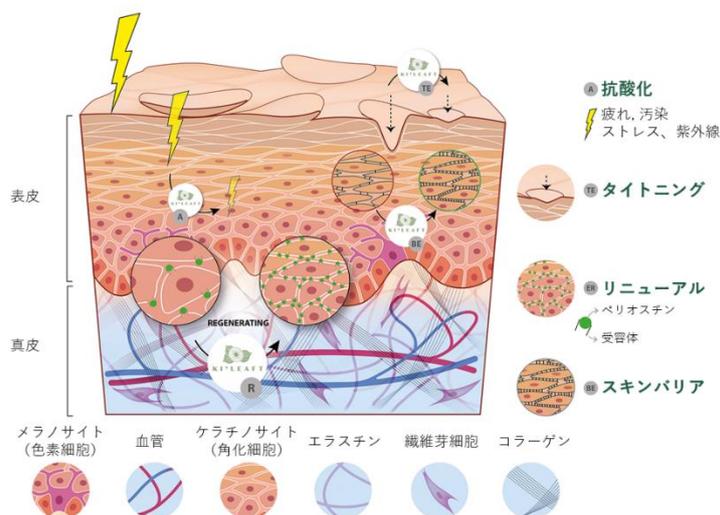
【用途】

スキンケア、フェイシャル、メイクアップ (エイジングケア・敏感肌向けクリーム)

【Ki'Leaft® 独自の作用メカニズム】



- 即時的なタイトニング効果
- スキンリニューアル効果
- スキンバリア促進効果
- 抗酸化効果



本資料に記載されている内容は、最終製品における経時安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、貴社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討下さい。

【即時的タイトニング効果評価: Ki'Leaf[®] 2%配合クリーム vs. プラセボ, 塗布直後の肌変形測定 (Dynaskin[®])】

Dynaskin[®]システムは、頬の表面に垂直に空気を吹き付けて皮膚の変形を実現するという点で、臨床的アプローチに似ています。Dermatop[®]システムは、フリッジ プロジェクション技術 (格子パターン投影法) を使用して、皮膚の変形の直前、変形中、変形後の局所表面の形状を記録する 3D センサーです。

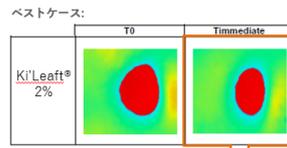
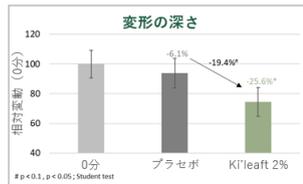
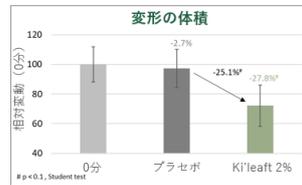
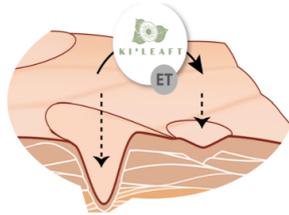
Ki'Leaf[®]による塗布直後の肌のリフトアップ (ハリを与える)、即時的な肌の引き締め効果 (タイトニング) が示された。

Ki'leaf[®] 2%配合クリーム及びプラセボクリームを肌に塗布してすぐに Dynaskin[®] システムによって肌の変形を測定

Ki'leaf[®] 2%配合クリームを塗布した時、プラセボに比べて優位な変形の減少

- ✓ 変形の深さ : 19.4%*
- ✓ 変形の面積 : 15.4%*
- ✓ 変形の体積 : 25.1%#

変形の減少→皮膚がより変形しにくい



塗布前に比べて30.35%変形面積が減少

【スキンリニューアル効果評価 ex vivo : 1日1回5日間, ヒト皮膚外植片に Ki'Leaf[®] 3%塗布】

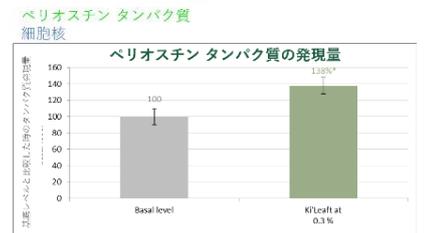
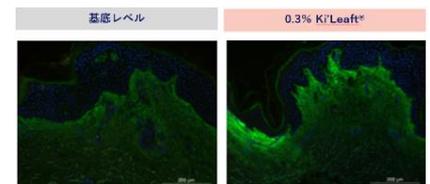
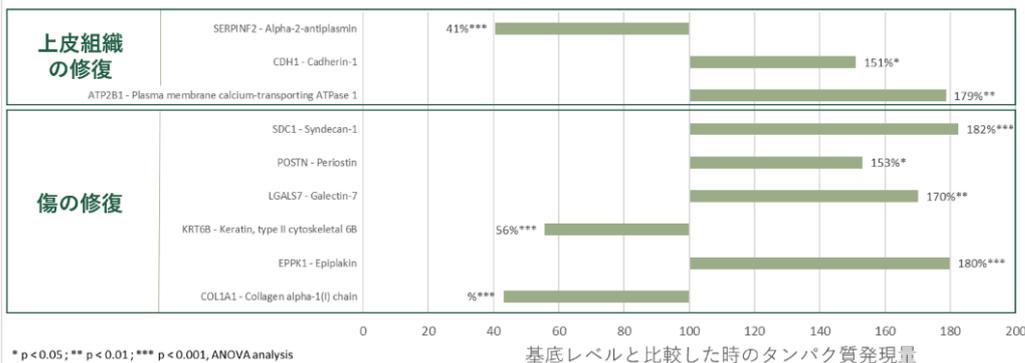
プロテオミクス解析により、皮膚の修復機能に関するタンパク質への Ki'leaf[®]の影響を評価。

Ki'Leaf[®]による肌修復に関する9つのタンパク質 (上皮組織, 傷修復) 発現調整、肌再生 (リニューアル) 効果が示された。

また Ki'Leaf[®]0.3%塗布により、ペリオスチン タンパク質の発現レベルの大幅な増加、肌再生ブースト効果が示された (右図)。

(ペリオスチン タンパク質: 細胞外マトリックスの構成要素。細胞に接着に関与)

Ki'leaf[®]によって調節される“皮膚修復”タンパク質



【スキンバリア促進効果評価 ex vivo : 1日1回5日間, ヒト皮膚外植片に Ki'Leaf[®] 3%塗布】

プロテオミクス解析により、皮膚のバリア機能の向上に関するタンパク質への Ki'leaf[®]の影響を評価。

Ki'leaf[®]による皮膚バリア機能向上に関する 13 タンパク質の発現量が調整、肌バリア機能とバリア構造強化が示された。

Ki'leaf[®]によって調節される“バリア機能”関連タンパク質

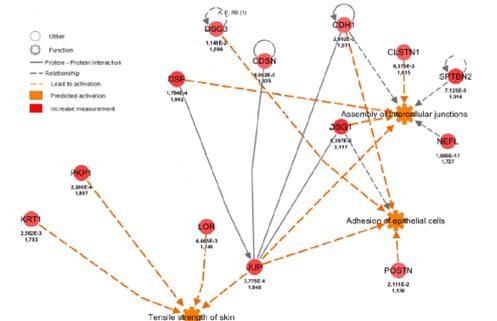
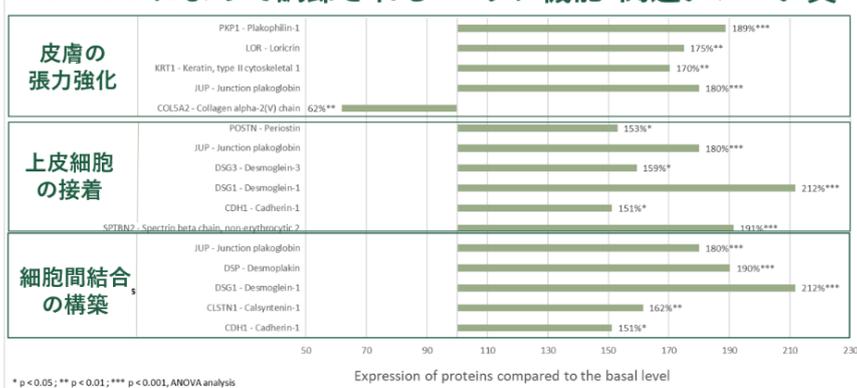


Figure : Interaction network of the "Structure - barrier function" axis. Values noted under protein identifiers are p-value (top) and fold change in abundance (bottom) as determined during relative protein quantification by LC-MS/MS for comparison with control condition.

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。

商品化に際しましては、貴社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討下さい。



MP五協フード&ケミカル株式会社

本社 TEL : 06-7177-6868 東京支店 TEL : 03-5643-3615

<https://www.mpqfc.co.jp/contact/>

2023.05.12